

平成27年度 新発田・北蒲国語部 活動報告

部長 本多 洋子

1 研究主題 「言葉を大切にすることの育成」

2 研究の概要

- 4月 9日(木) 第1回国語部専門部会
部長・副部長の選出 研修テーマ・活動計画の立案
- 6月 8日(月) 第2回国語部専門部会 講演会(会場:中浦小学校)
講師:新潟市立笹山小学校 校長 金子 淳嗣 様
- 11月 2日(月) 第3回国語部専門部会 研究授業(会場:猿橋小学校)
授業者:新発田市立猿橋小学校 教諭 稲村 佳奈恵
指導者:新潟市立笹山小学校 校長 金子 淳嗣 様

※ 上記3回の他に、10月9日(金)に有志部員による第3回国語部専門部会(研究授業)の指導案検討会を実施。(会場:猿橋小学校)

3 研究の実際

(1) 第2回 国語部専門部会

本年度の授業公開は物語文で行われた。授業者及び部員の希望もあり、「物語文の読解について」と題して、子どもたちが物語文を読み取るための具体的な指導法について講演していただいた。

はじめに、言葉を大切にすることを「比べる」「書く」「交流する」という3つの具体的な手法や意義についてお話していただいた。「言葉を大切にすることの育成」は国語部のテーマであるが、言葉に注目することが深い読みにつながるというご指導に、改めて教材研究の大切さを確認することができた。分かりやすく実感をもって学ぶ有意義な時間となった。

次に模擬授業形式も取り入れて、具体的に発問の作り方や教材の解釈ポイントを示しながら、子どもに力を付けさせる大切な視点について教えていただいた。早速試してみたいような内容であり、きっと国語の授業が楽しくなるだろうと確信できた。

(2) 第3回 国語部専門部会

「ごんぎつね」(光村図書 国語4下)の第4・5場面を読み、本文の叙述をもとにごんの行動や気持ち、情景描写を読むことがねらいであった。はじめに、ごんはどんな気持ちで兵十と加助の後ろをついて行っているのかを想像して吹き出しに書き、子ども相互に交流した。その後、教材文の「引き合わない」という言葉に着目し、ごんと兵十の気持ちのすれ違いを話し合い、一人一人がごん日記を書いた。

協議会では、「ペアから全体への交流は友だちとの共通点や相違点を考える手段として有効であったか」「ごん日記がごんの気持ちの変化を読み取る手段として有効であったか」という2つの視点から話し合われた。根拠となる言葉の教師の理解、子どもの意見の取り上げ方などについて活発に意見交流がなされた。授業者が、子どもたちに物語文を読ませるために言葉や文を吟味し、どのような手法や工夫をして提示していくか考えていくことが大切であると確認した。

また、ご指導の時間には、「物語を読む」ということの学習観についてお話をいただいた。物語文の感動ではなく読み方を教えることの大切さ、分析的に読むことのおもしろさを教えていくことの大切さを学ぶことができた。

4 成果と課題

6月8日の講演会では、「言葉を大切にすることの育成」のために、物語文読解を「比べる」「書く」「交流する」という手法を使うことで、深い読みの指導ができることを部員で共有することができた。指導案事前検討会でも確認し、授業者・部員が言葉に注目した授業作りに役立てることができた。協議会でも、言葉を大切にしたい深い読みの指導のためには、教師がしっかりと教材観を持つことが大切であると確認した。